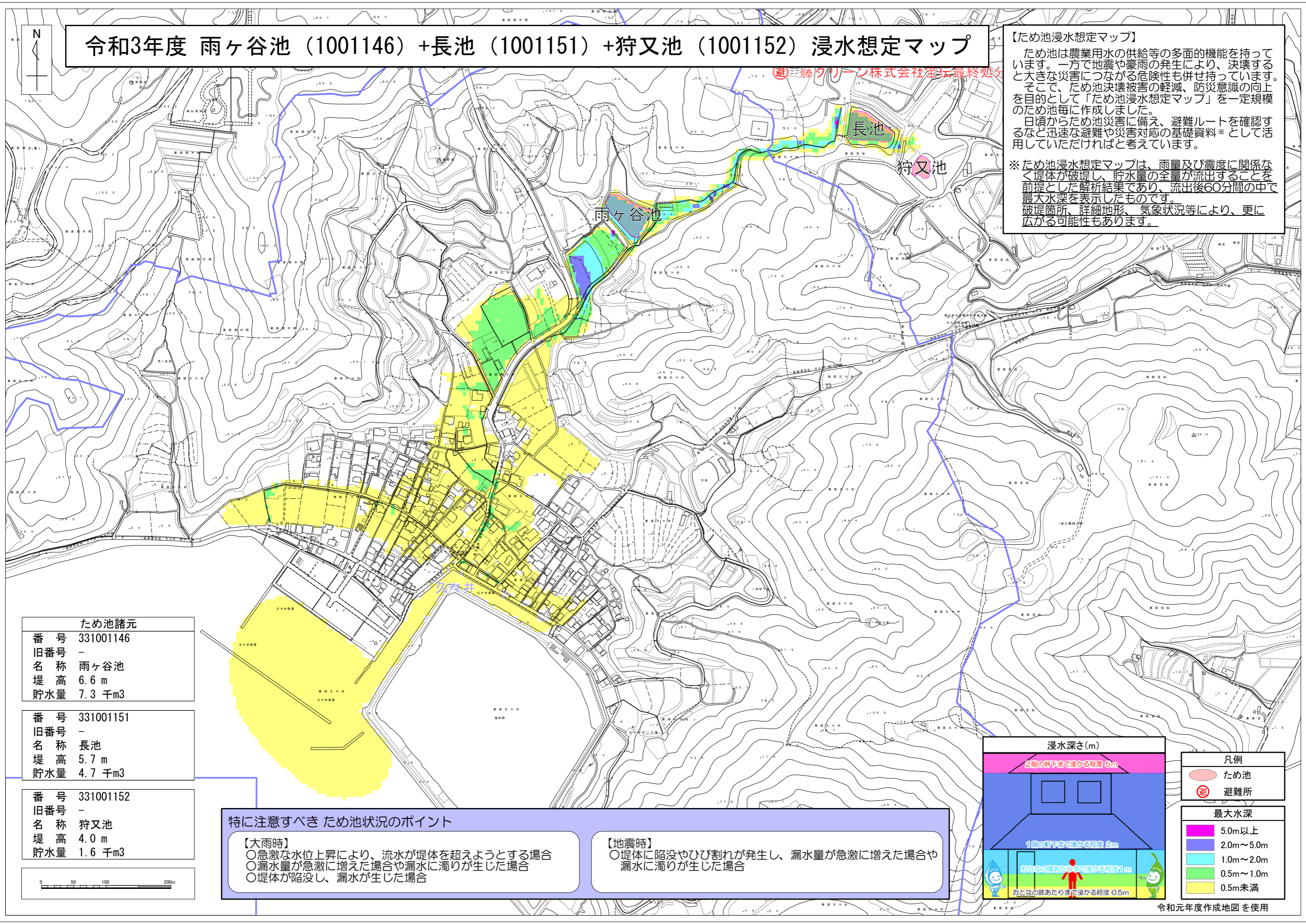


令和3年度 雨ヶ谷池（1001146）+長池（1001151）+狩又池（1001152） 浸水想定マップ

【ため池浸水想定マップ】
 ため池は農業用水の供給等の多面的機能を持っています。一方で地震や豪雨の発生により、決壊すると大きな災害につながる危険性も併せ持っています。そこで、ため池決壊被害の軽減、防災意識の向上を目的として「ため池浸水想定マップ」を一定規模のため池毎に作成しました。日頃からため池災害に備え、避難ルートを確認するなど迅速な避難や災害対応の基礎資料*として活用していただければと考えています。

*ため池浸水想定マップは、雨量及び震度に関係なく堤体が破壊し、貯水量の全量が流出することを前提とした解析結果であり、流出後60分間の中で最大水深を表示したものです。破堤箇所、詳細地形、気象状況等により、更に広がる可能性もあります。



ため池諸元	
番号	331001146
旧番号	-
名称	雨ヶ谷池
堤高	6.6 m
貯水量	7.3 千m3

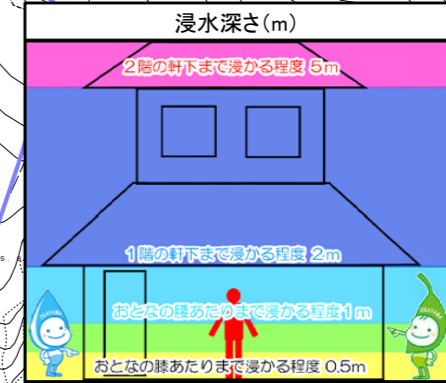
番号	331001151
旧番号	-
名称	長池
堤高	5.7 m
貯水量	4.7 千m3

番号	331001152
旧番号	-
名称	狩又池
堤高	4.0 m
貯水量	1.6 千m3

特に注意すべきため池状況のポイント

【大雨時】
 ○急激な水位上昇により、流水が堤体を超えようとする場合
 ○漏水量が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合
 ○堤体が陥没し、漏水が生じた場合

【地震時】
 ○堤体に陥没やひび割れが発生し、漏水量が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合



- 凡例
- ため池
 - 避難所

最大水深

5.0m以上
2.0m～5.0m
1.0m～2.0m
0.5m～1.0m
0.5m未満